

出前授業を突破口に未来の自動車整備士発掘に挑む!

札整振自動車事業協同組合

[テーマ：積極的な情報発信]

住 所	〒065-0024 北海道札幌市東区北24条東1丁目1番12号		
U R L	http://www.sss.or.jp/		
設 立	昭和45年7月	主 な 業 種	自動車分解整備業
組 合 員 数	1,037人	出 資 金	56,460千円

■背景・目的

自動車整備業界では、若年層の車離れに加え、3K（きつい・汚い・危険）の仕事というイメージ先行により、整備士人口が年々減少している。他方、整備士の高齢化、自動車保有台数・認証整備工場数の増加に伴う整備士一人あたりの過大な業務量が経営課題として顕在化し、若手人材の確保・育成が業界をあげて喫緊の課題となっている。そこで、自動車整備士への興味関心を惹起し、将来の人材確保の円滑化及び自動車整備業界の持続的な発展に寄与するため、青年経営研究会（以下、青経会）会員自らが講師となり出前授業に取り組むこととなった。

■取組みの手法と内容

自動車整備士の成り手不足の要因の一つに、労働環境が劣悪な3Kの仕事というイメージが未だ世間一般に根強い上、ネガティブイメージを払拭するための情報提供・魅力発信が不十分である点が挙げられる。したがって、人材不足を根本的に解決するには、若年層の自動車整備士に対するイメージを刷新し、将来の職業選択の一つとして考えてもらうきっかけ作りが肝要となる。

そのため、当組合では、次代を担う若手経営者で組織される青経会が主体となり、青経会役員自らが講師として、組合地区内の中学校・高等学校を訪問し、自動車整備士の魅力や整備業界全体の現状と展望を授業形式で説明する出前授業に取り組むこととした。具体的な進路や希望職種が定まる前の段階で働きかけた方がより効果を見込めるとして、中学一・二年生及び高校一・二年生を対象とする。実際の授業では、講師による説明のほか、事前に製作した整備業界紹介DVDを活用することで、より生徒の理解を深められるようにした。授業終了後には質疑応答の時間も設け、現在の学生が仕事についてどのような意識を持ち、どのように職業選択するのかをヒアリングしている。

平成30年の北海道胆振東部地震によるブラックアウトで事業が一時中断したことに加え、学校側とのスケジュール調整が難航し、当初想定した授業実施計画に遅れが生じたが、今後は1校/月のペースで順次取り組むとともに、対象を小学校高学年の児童にまで拡大し、幅広い年代に向けて自動車整備士の魅力を発信していくことで未来の自動車整備士の掘り起こしに挑むこととした。

■成果とその要因

青経会会長が、出前授業の発案からDVD製作会社の選定まで事業の枠組みをスピーディーに決定しつつ、実際の事業運営に関しては組合が青経会の自主性と独創性を重んじ青経会会員に一任したことで、自動車整備業界の実情に即した効果的な企画立案、実現が可能となった。



青経会役員による出前授業



新人整備士に業界の実情を聞く



Point

未来の人材を確保し、業界の持続的な発展につなげたいという強い目的意識が、自主的かつ創意工夫に富んだ事業運営につながり、現状分析から企画立案、実行まで迅速に取り組むことができています。

観光宿泊客増進を目指し行政と連携した二次交通手段の確保

甲府ホテル旅館協同組合

[テーマ：外部との連携]

住 所	〒400-0031 山梨県甲府市丸の内二丁目30番5号		
U R L	http://www.kofu-tabi.jp/		
設 立	昭和40年6月	主 な 業 種	宿泊業
組 合 員 数	18人	出 資 金	410千円

■背景・目的

団体旅行から、地域の魅力を旅行者自らの視点で探索するプライベート型へと移行した観光客の嗜好に合わせて観光宿泊客を増加させるためには、地域ぐるみの「おもてなし」が必要である。組合では、甲府市内の観光推進上で大きな課題である二次交通(市内の近距離移動)手段の確保のため、環境に優しく気軽に市内や観光地を周遊出来る交通手段を提供し、「おもてなし」を実現する一つの方法として、甲府市と連携した「レンタサイクル事業」を開始。併せて観光情報などの発信を行い、観光地としての魅力向上を図った。

■取組みの手法と内容

組合員のホテル・旅館に宿泊する観光客のニーズを反映させた二次交通手段の確保が課題となっていた。その折、既に実施されていた甲府市直営の「レンタサイクル事業」は事業の組み立て直しを迫られており、組合の迅速な意思決定により、同事業の受託に至り平成25年度より事業を開始した。

当該事業の目的は、組合員たるホテル等への宿泊客の増進、かつビジネスユースのみならず観光目的の宿泊者数を増やすことにある(現状はビジネスユース6:観光ユース4→ビジネスユース5:観光ユース5)。

近年では国内旅行エージェント会社を介さない海外からの宿泊客が増加していることから、組合ホームページ上では英語、中国語による組合員(宿泊施設)の紹介や、周辺観光施設案内等を行うなど共同宣伝事業を強化した。連携する甲府市、甲府市観光協会(観光施設・商店等含む)がそれぞれホームページ上で発信する観光情報との整合性も取れており、市内観光を目的とする宿泊客の情報源として有効に機能、富士山の世界文化遺産登録、甲府開府500年記念イベント等の効果により、平成26年から平成30年まで甲府市への観光入込数は毎年増加しており、観光目的の宿泊者数も増加傾向にある。

観光宿泊客増進のため、レンタサイクル事業がより効果を発揮できるよう、組合員がそれぞれ関係先に交渉し、名所を周遊出来るモデルコースを作成。今後は市内の観光施設や、商店街とも連携した新たなモデルコースを周遊することにより、無料配布物や割引などを行う企画を実現化させ、さらに観光宿泊客の増加に結び付けることができるよう検討している。

■成果とその要因

ホームページを活用した共同宣伝事業、観光情報の提供、宿泊客の移動のため必要となる二次交通手段の提供確保として甲府市と連携したレンタサイクル事業は、複合的に作用し平成26年から平成30年まで組合員のホテル・旅館の宿泊者数は増加傾向にある(H25:400,000人→H30:495,000人)。

意思決定スピードの早さ、甲府市や観光協会、観光施設等外部機関との連携による周知活動やイベント活動などの取組みに対して、全組合員が自的にかつ意欲的に取り組んだことなどが成功の要因である。



組合員ホテルではレンタサイクルを活用した観光プランを各種紹介



甲府市や甲府市観光協会HPでもレンタサイクルを活用した周辺観光プランを提供している



Point

・組織内の意思決定スピードとPDCAを回す仕組みづくり
・地域愛に根差した組合員の自主的な事業参加
意識の醸成 ・互いの資源を補完し合う外部機関との連携